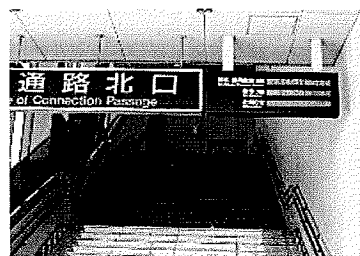


JR筑前前原駅北口・南口に電光掲示板設置!!

福祉

初当選後最初に取り組んだ実績です。平成16年3月設置完了。聴覚障害者の方でも列車の運行や災害情報が一目でわかります。



また市のイベントや観光案内もお知らせできるよう、工夫を凝らしました。

糸島高校南の点滅信号機をフル規格の信号機へ切り替え!!

教育

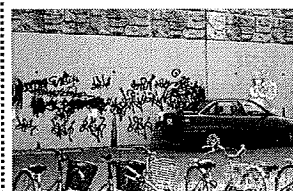
平成17年6月幼稚園のスクールバスと乗用車が交差点内で発生した衝突事故を教訓に、点滅信号機からフル規格の信号機に切り替えました。



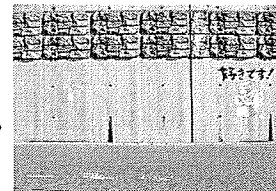
美咲が丘駅・あごらなどの外壁落書消しを実施

環境

平成15年7月、市職員やJR職員、ボランティアの皆さんの協力により落書きゴシゴシ。見違えるほどすっきり綺麗になり、西日本新聞にも大きく取り上げられました。



(実施前)



(実施後)

市内全小・中学校に専任図書司書を配置

教育

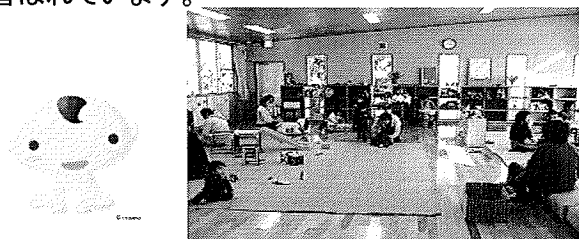
小学生の保護者の方から「学校図書館の書籍数が少ないし、司書がない」との声を聞き、平成15年3月議会において、「市内全小中学校に専任の図書司書の配置を」と訴えました。これには生徒の「活字離れ」を防ぎ、集中力を向上させる効果もあります。松本新市長の公約にも反映され、平成18年4月から1日4時間専任の図書司書が配置されました。



子育て支援センター「すくすく」を開設

子育て

平成15年5月に630人の署名と共に設立を要望。平成17年8月伊都文化会館横にオープンしました。市外から参加される方も多く、母親同士の憩いの場としても喜ばれています。



4年間で実績

70以上!!

市政編



NEW KOMEITO
公明党

ささぐり すみお 純夫
通信

Vol
12

平成18年9月8日 ささぐり純夫後援会発行

内部討議資料

~~ ホームページにも詳細が掲載されています URL <http://www.sasagurisumio.com> ~~

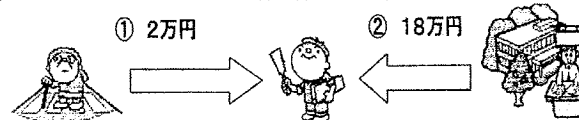
福祉用具購入や住宅改修で「受領委任払い」方式を採用

福祉

これまでは市から補助はできるものの、かかった費用を工事業者に支払うため、先に全額分用意する必要がありました。

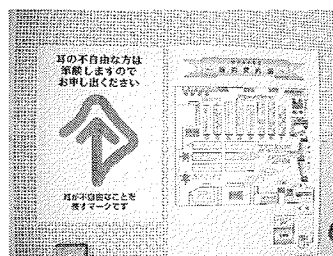
そこでささぐりは、費用の1割分を最初に用意するだけで福祉用具購入などができる「受領委任払い」制度を前原市に導入しました。

(総額20万円)



福祉

聴覚障害者に対し「筆談」が可能なことを示す「耳マーク」を市役所や市図書館など市内66ヶ所に設置。「広報まえばる」でも紹介して頂きました。



南風小学校のシックハウス対策にシックスクール配慮型ワックス

環境

平成16年3月アソカ幼稚園に通う園児が南風小学校に入学説明会に参加した際、シックハウス症候群を発症した、と相談を受けました。

原因は南風小学校の床が平成15年改正建築基準法の基準を満たしていなかったから。早速ささぐりはシックスクール配慮型ワックスをかけてシックハウス対策を行い、子供の安全のため尽力しました。現在では市内の全小中学校にシックスクール配慮型ワックスが使用されています。



オストメイト対応の多目的トイレを市内12ヶ所に設置

福祉

人工肛門や人工膀胱などを患っている人たちは汚物を入れるタンクやシンクが必要です。市役所や、伊都文化会館などオストメイト対応の多目的トイレ12ヶ所を設置しました。



新聞紙

公明新聞記事 平成17年8月19日(金)

受領委任し、
で負担を軽減



對私に於て濟ぬ所。

廢除餘りたる住改修費
 と補填費用とを公
 に家賃に払ひ制
 度へ利用せられ
 ます。その額は
 公費と交はれま
 す。

公明新聞記事 平成17年5月25日(水)

オストマイト
トイシが拡大

السلامة

[illegible]

付けられ、案内表示は発
夢がない、大変にうれ
しい。できたら、ほかの
車時刻と事故状況が走
テロップで伝える。
吉岡田会長は「長年の
と喜びを語っていた。

駅入りの口に電光掲示板

耳が木盲田でも安心で、事故など緊急事態が、いつでも早期実現を強く迫

す——。福岡県前原市の発生した折、耳が不自由な人は駅の案内放送を聞くとができず、状況を把握できないうまま、やで南北入り口と結ばれてゐる。同通路は市の竈頭。このため、「一歩入りの口

ている。4月11日には、同協会は昨年1月、その部分に電光掲示板を2箇所設置を訴え、事故うった美濃を訴え、状況などが目で分かる色を示したことから、市議会公明党の笹栗純夫議員と米島地区聴覚障害者福祉協会の吉全正明会長と代表が現地を視察受けた同議員は早速、春田馨・前原市長（当時）に電光掲示板、北口と美濃した。

前原市には、約250人の聴覚障害者がいる



電光掲示板の設置を福祉協会メンバーと喜び合う笹栗市議（右から2人目）

公明新聞記事 平成17年10月15日(土)

公明新聞記事 平成18年4月21日(金)

[illegible][illegible]

子育て応援します
支援センターが好評です

「おなだの子育ては後
針樂純夫の西醫會から
しませう」。福島縣前
県市が古市町東に開設
した子育て支援センター
「すくすく」が、子育て
奮闘中のお母さんたちに
好評を博している。同セ
ンター事務所に訪れた市
議會公明黨の成吉大工二



子育て支援センターを視察する笹栗（後列右端）、成吉（同右から2人目）両議員

乳幼児を持つ親子の交流の場となるもので、今年8月、伊都文化会館側に建設された。建物は鉄骨造の陸屋根、延べ床面積約307平方メートルには多目的室、陸は大半分がロビー、強い力で遊べるプレイタームが並び、エレベーターが設置されていゝ。すでに開所2カ月が過ぎ、乳幼児を持つ保護者の情報交換や仲間づくりのための子童に広場」には一日平均104人も参加する盛況らしい。回や2ターの設置は、2003年3月竣工で、児童会が提案。同月に、は成育、言葉の両側面から乳幼児を抱えるお母さんたち15人に30人の署名を募集、春日整勢市長（当選）に随情）とした。

おだおだ
元張ります!!

